

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
ブレーメン動物専門学校		平成20年1月16日		豊實 祐之		〒 770-0021 (住所) 徳島県徳島市佐古一番町5番4号 (電話) 088-652-5899				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人野上学園		平成19年9月20日		野上 耕一		〒 770-0021 (住所) 徳島県徳島市佐古一番町5-4 (電話) 088-652-5899				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
文化・教養	文化教養専門課程	ペットビジネス学科		平成22(2010)年度	-	平成26(2014)年度				
学科の目的	トリミング、動物看護、動物保護、アニマルケア、アニマルセラピー、ドッグトレーニング、ボランティアトリミング、ボランティアトレーニング、ファシリティドッグなどの専門的な知識と技術を総合的に学ぶ。									
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	C級トリマー、B級プロフェッショナルトリマー、ドッグトレーナー、愛玩動物看護師※R4年度入学生まで									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位数時間、単位いずれかに記入			2,400 単位数時間	562 単位数時間	- 単位数時間	1,838 単位数時間	- 単位数時間	- 単位数時間
					- 単位数	- 単位数	- 単位数	- 単位数	- 単位数	- 単位数
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)						
70人	93人	0人		0%						
就職等の状況	■卒業者数(C)		48人							
	■就職希望者数(D)		46人							
	■就職者数(E)		45人							
	■地元就職者数(F)		37人							
	■就職率(E/D)		98%							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		82%							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		94%							
	■進学者数		1人							
	■その他									
	(令和4年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)									
■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生)		トリミングサロン、動物病院、ペットショップ等								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無					
評価団体: -		受審年月: -		評価結果を掲載したホームページURL -						
当該学科のホームページURL	https://tba.ac.jp/									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位数による算定)									
	総授業時数		540 単位数時間							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		174 単位数時間								
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位数時間								
うち必修授業時数		0 単位数時間								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位数時間								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位数時間								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位数時間								
(B: 単位数による算定)										
総授業時数		単位								
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位								
うち必修授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位								
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)		1人							
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)		2人							
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人							
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)		1人							
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)		7人							
	計		11人							
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2人								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界又は職種に相当年数携わり、実務に関する知識・技術について知見のある企業や施設等の管理者又は職員と連携し、講義及び実習を通じて自ら学ぶ意欲と実践力のある学生を育成することを目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学園理事会、監事、評議員会とは別に、独立して存在するものとする。

教育課程編成委員会規則に基づき会議を開催し、学生の育成に必要なカリキュラムやその他必要事項の取り決めを行う。また、委員会で審議された内容、結果を学校長を通じて学校内各部門の教員等へ周知され、学校内の教職員会議で採択の可否を決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
野上 耕一	大阪ブレーメン動物専門学校 校長	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	—
野上 和子	学校法人野上学園 理事	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	—
中 徹	NPO法人日本社会福祉愛犬協会 理事	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	①
貴志 泰則	株式会社貴志商店 代表取締役社長	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	③
永木 ユミ子	ローズサマンサ 代表	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	③
小松 敏之	いぬのがっこうKOMATU 代表	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	③
軽部 真紀	かるべ動物病院 院長	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回以上の開催、時期は春季と秋季を基本とする。

(開催日時(実績))

第1回 令和4年4月1日 13:00～15:00

第2回 令和4年11月26日 14:00～16:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物看護師の国家資格化へ向けてのカリキュラムをより実践的なものにする 것과動物病院との連携を強化することが提言された。

引き続き、動物看護師の国家資格化について、3年制学科設置のための各種準備について提言を取り入れていくことを確認。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場で使用される機材等の扱い方や、現場で必要とされる知識・技術の習得のため、積極的に企業(動物病院, 訓練施設, トリミング美容室, 牧場等)へのインターンシップをカリキュラムに導入。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

専門知識が必要な機材の扱い方、現場で求められる技術について、授業科目の担当教員と派遣された講師が事前に打ち合わせを行い、指導方針、実習内容、生徒の学習成果の達成度に対する評価基準・方法について定める。担当教員が日常的な指導をしつつ、講師が専門性の高い技術指導を行っていき、それぞれが連携しながら授業運営を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
総合トレーニング実習Ⅱ	犬を使ったデモンストレーション技術を身に付けるとともに、一般飼い主向けのしつけ教室開催に向けた知識を習得する。 訓練所を開いている講師のもと、より現場での実演に近い内容で実践的な内容を学ぶことができる。	やの犬訓練所
内科動物看護学実習Ⅱ	犬や猫の内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識を実践力へつなげる。 内科診療の主義を診療の妨げとならないように実践出来る技術を習得する。	はせ動物病院
動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識を実践力へつなげる。 検体検査・生体検査の主な種類と検査の意義を理解し、生態に及ぼす影響も考慮しながら行う技術を身に付ける。	あけぼの動物病院
外科動物看護学実習Ⅱ	麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識を実践力へつなげる。 外科手術の補助に必要な手順や術例ごとの確認事項等の必要知識と技術を身に付ける。	林獣医科病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員は近年の多様化した社会、動物産業の多彩なペットビジネスサービスのニーズに対応するために必要な知識・技術を習得することが必要となる。国内外を問わず、連携企業・学校への研修・セミナーを定期的に行い、教職員の資質・能力の向上と意識改革を進める。

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員は近年の多様化した社会、動物産業の多彩なペットビジネスサービスのニーズに対応するために必要な知識・技術を習得することが必要となる。国内外を問わず、連携企業・学校への研修・セミナーを定期的に行い、教職員の資質・能力の向上と意識改革を進める。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	獣医師・動物看護師研修	連携企業等:	日本臨床獣医学フォーラム
期間:	令和4年9月22日	対象:	ペットビジネス学科教員
内容:	国内外の講師が獣医師と動物看護師&トリマー向けのセミナーを実施。		
研修名:	飼育学研修	連携企業等:	ムアパークカレッジ
期間:	令和5年1月17日～1月23日	対象:	ペットビジネス学科教員
内容:	Moorpark Colleg(アメリカ、カリフォルニア州)の併設野生動物園にて動物飼育学に関する研修を行う。		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容:	0		
② 指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	話し方講習	連携企業等:	アナウンsgループカインド
期間:	令和4年5月16日、12月11日	対象:	ペットビジネス学科教員
内容:	フリーアナウンサーを講師に招き、話し方に関する講座を受講する。発声方法から話の組み立て、要点のまとめ方等、授業に必要なスキルを学ぶ。		
研修名:	主体的な学びを育む学校づくり	連携企業等:	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
期間:	令和4年7月3日	対象:	ペットビジネス学科教員
内容:	ワークショップ、学ぶ意欲を向上させるための、各プロセス対応。学校・学年で成績評価が低い構成要素、課題に関連した構成要素についての検証と対策等。		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容:	0		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	飼育学研修	連携企業等:	ムアパークカレッジ
期間:	令和5年11月予定	対象:	ペットビジネス学科教員
内容	Moorpark College(アメリカ、カリフォルニア州)の併設野生動物園にて動物飼育学に関する研修を行う。		
研修名:	ビジョンフリーゼグルーミング講習	連携企業等:	ジャパンケネルクラブ
期間:	8月末1日6時間程度	対象:	ペットビジネス学科教員
内容	ビジョンフリーゼのトリミングとグローバルな視点からの見解をワークショップ形式で実施。		
研修名:	獣医師・動物看護師研修	連携企業等:	日本臨床獣医学フォーラム
期間:	令和5年9月23日	対象:	ペットビジネス学科教員
内容	獣医師と動物看護師、トリマー向けのセミナーを実施。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	話し方講習	連携企業等:	アナウンスグループカインド
期間:	令和5年12月8日	対象:	ペットビジネス学科教員
内容	フリーアナウンサーを講師に招き、話し方に関する講座を受講する。発声方法から話の組み立て、要点のまとめ方等、授業に必要なスキルを学ぶ。		
研修名:	主体的な学びを育む学校づくり	連携企業等:	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
期間:	令和6年2月予定	対象:	ペットビジネス学科教員
内容	ワークショップ、学ぶ意欲を向上させるための、各プロセス対応。学校・学年で成績評価が低い構成要素、課題に関連した構成要素についての検証と対策等。		
研修名:	0	連携企業等:	0
期間:	0	対象:	0
内容	0		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

大阪プレーメン動物専門学校自己評価報告書に基づき、教職員の意見聴取及び学校施設等の視察を行う。

学校が設定した評価項目の達成及び取組み状況を点検する。

自己評価をもとに、その内容において分析・考察を行う。

今後の課題と改善策を示し、教育活動・学校運営の質向上に役立てる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・教育目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果は、学校関係者評価委員会において評価項目の達成度についての点検を行う。委員会での点検をもとに各事項についての分析・考察を行い、今後の課題と改善策を示した報告書を纏め、HP等で公開し、教育活動・学校運営の質向上をはかる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
貴志 泰則	株式会社貴志商店	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	企業等委員
永木 ユミ子	ローズサマンサ	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	企業等委員
上原 大季	ドッグサロン アプリコット	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	卒業生
鈴江 恵	あけぼの動物病院	令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://tba.ac.jp/school_hyoka_R04tokushima.pdf

公表時期: 令和5年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、企業等関係者に情報提供することで相互理解が促され、学校内外の実習、就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につながる、との視点から情報提供を進めていく。また、情報提供等に当たっては、学生や保護者、関係業界等が求める情報の内容を十分把握し、求めに応じた情報を適切に示していくことに留意する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校概要
(2) 各学科等の教育	(2) 学校概要
(3) 教職員	(3) 学校概要
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) 学校概要
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) キャンパスライフ
(6) 学生の生活支援	(6) 大学等における修学の支援に関する情報
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 入学案内
(8) 学校の財務	(8) 財務諸表等
(9) 学校評価	(9) 学校自己評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://tba.ac.jp/school_hyoka_R04tokushima.pdf

公表時期: 令和5年7月1日

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ペットビジネス学科)															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○		グルーミング学Ⅰ	グルーミングとは何か、グルーマーとしてのグルーマーの基本、基礎、身に付けておくべき知識を学ぶ 道具の正しい使い方、正しいお手入れの方法を学ぶ 犬の体の基礎を学び、皮膚や被毛に対するお手入れの方法を学ぶ	1前	15	-	○			○		○	○	
2	○		グルーミング実習Ⅰ①	実習を通してベーシックの基本の技術を習得し、時間内にカットまで仕上げ、C級ライセンス取得を目指す	1通	90	-			○			○	○	
3	○		動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ 基礎を確立する	1通	120	-	○			○			○	
4	○		動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生仔管理、遺伝学の基礎知識を習得する	1通	30	-	○	△		○			○	
5	○		動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する	1通	30	-	○			○			○	
6	○		動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する	1通	60	-	○			○			○	
7	○		動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法等感染症対策の基礎を習得する 感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ	1通	90	-	○	△		○			○	
8	○		動物医療関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学び、社会における動物看護の役割を理解する	1通	30	-	○			○			○	
9	○		公衆衛生学	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する	1通	60	-	○			○			○	
10	○		動物人間関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史を学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する	1通	30	-	○			○			○	
11	○		動物福祉・倫理	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ	1通	30	-	○			○			○	
12	○		動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する	1通	30	-	○			○			○	○

(文化教養専門課程 ペットビジネス学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
13	○			伴侶動物学	伴侶動物の歴史や品種、飼育管理法、エキゾチック動物の生態について理解する	1通	60	-	○			○		○		
14	○			産業動物学	産業動物の歴史や品種、飼育管理法、および畜産業等社会との関わりについて学ぶ	1通	45	-	○			○		○		
15	○			実験動物学	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ	1後	15	-	○			○		○		
16	○			野生動物学	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ	1通	30	-	○			○		○		
17	○			飼育管理学	伴侶動物、展示動物について適正飼育法および主な疾病について理解し、看護と飼い主指導に活かす	1通	30	-	○			○		○		
18	○			経営学・ビジネススキルⅠ	社会人として必要とされる経営・一般教養や就職活動に必要なスキルを習得する	1後	15	-	○			○		○		
19		○		犬種別ペットクリップⅠ	犬種のそれぞれ特徴を理解し、お客様の要望を踏まえ、その犬種にあったペットクリップを実践で学ぶ	1通	120	-	△		○	○		○	○	
20		○		グルーミング実習Ⅰ②	実習を通してベーシックの基本的技術を習得し、時間内にカットまで仕上げ、C級ライセンス取得を目指すより多くの頭数のモデル犬のトリミングを行い、高い技術の習得を目指す	1通	180	-			○	○		○	○	
21		○		ハンドリング学Ⅰ	ドッグショーについての基本的な知識を習得し、犬の基本的な見せ方、ハンドリング、歩様について学び、スタンダード（犬種標準）を理解する	1通	30	-	○		△	○		○		
22		○		ペット造形学・美学Ⅰ	ペット犬種のデッサンや、粘土を使った造形を通じてイメージ能力を養う	1通	120	-	○		△	○		○		
23		○		動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する	1通	60	-	○			○		○		
24		○		動物内科看護学	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血等について理解する	1通	30	-	○			○		○		
25		○		動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する	1通	60	-	○			○		○		

(文化教養専門課程 ペットビジネス学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		臨床動物看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する	1通	30	-	○			○		○		
	○		動物臨床栄養学	5大栄養素やその代謝等基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法等臨床栄養学を修得する	1通	60	-	○	△		○		○	○	
	○		動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する	1通	60	-	○			○		○	○	
	○		動物医療コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ	1通	60	-	○			○		○	○	
	○		動物形態機能学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像等を通じて学ぶ	1通	90	-	△		○	○		○	○	
	○		ドッグトレーニング理論Ⅰ	オオカミとの比較から犬が家畜化される過程の省察を辿り、ヒトと犬が共生していくために必要な方法を習得する 脳と行動の関係について理解するとともに動物行動学に沿った具体的なトレーニング方法の選択・組み立て方を身に付ける	1通	30	-	○			○		○	○	
	○		服従訓練Ⅰ	指導手のコマンドに対し犬が従順に適應する基礎的な服従訓練を実践的に学ぶとともに、それらを活用した行動修正法の知識を習得する	1通	180	-	△		○	○		○	○	
	○		アジリティⅠ	ドッグスポーツであるアジリティ競技の基礎を学び運動能力の向上を目指す。ドッグスポーツの起源を理解するとともに、アジリティの歴史から競技概要を理解する	1通	120	-	△		○	○		○	○	
	○		総合トレーニング実習Ⅰ	「聴く力」「伝える力」「指導する力」を要するインストラクションスキルを身に付け、クライアントの生活環境・要望に合わせたトレーニングスケジュールを組立てる技術を習得しクライアント教育に励む	1通	120	-	△		○	○		○	○	
	○		動物飼育実習Ⅰ	実際に動物を世話することで観察力と動物福祉の精神を養う。また、衛生管理、備品管理、基本的な動物のハンドリングを身に付けトレーニングに活かす。さらに手順や要領を考慮した行動から問題解決能力を身に付ける	2通	30	-	△		○	○		○	○	
	○		動物飼育実習Ⅱ	動物飼育実習Ⅰに応用能力を用いて正確性、迅速性を身に付ける	2通	45	-	△		○	○		○	○	
	○		グルーミング学Ⅱ	1年時に学んだ基礎を踏まえて、犬種に応じたペットクリップ、ショークリップ等に関する高い知識の習得を目指す	2前	15	-	○			○		○	○	
	○		グルーミング実習Ⅱ①	実習を通して犬種に応じたペットクリップをバランスを考慮して仕上げられる技術の習得を目指すショークリップを理解し、その犬の美しさを表現できる高い技術の習得を目指す	2通	90	-	△		○	○		○	○	

(文化教養専門課程 ペットビジネス学科)															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
39	○		ボランティア学	動物愛護センターや民間保護団体を通じ動物のお手入れやしつけの活動を行う また、周辺地域の清掃活動を定期的に行い社会貢献の意味を学習する	2 通	15	-	○		△	○		○		
40	○		経営学・ビジネススキルⅡ	社会人として必要とされる経営・一般教養や就職活動に必要なスキルを習得する	2 後	15	-	○			○		○		
41		○	犬種別ペットクリップⅡ	犬種の特性を理解し、実習を通してその犬種にあったペットクリップの技術の習得を目指す	2 通	180	-	△		○	○		○	○	
42		○	犬種別ショークリップⅠ	犬種の特性（スタンダード）を理解し、実習を通してその犬種の持つ美しさを表現できる技術の習得を目指す	2 通	180	-	△		○	○		○	○	
43		○	犬種別ショークリップⅡ	：犬種の特性（スタンダード）を理解し、実習を通してその犬種の持つ美しさを表現できる技術の習得を目指す 多種多様な犬種のショークリップの実習を行い、幅広く、多様性に対応できる技術の習得を目指す	2 通	180	-	△		○	○		○	○	
44		○	ハンドリング学Ⅱ	ドッグショーについての基本的な知識を習得し、犬の基本的な見せ方、ハンドリング、歩様について学び、スタンダード（犬種標準）を理解する	2 通	30	-	△		○	○		○		
45		○	ペット造形学・美学Ⅱ	ショー犬種のデッサンや、粘土を使った造形を通じてイメージ能力を養う	2 通	30	-	△		○	○		○		
46		○	グルーミング実習Ⅱ②	実習を通して犬種に応じたペットクリップをバランスを考慮して仕上げられる技術の習得を目指す ショークリップを理解し、その犬の美しさを表現できる高い技術の習得を目指す	2 通	330	-	△		○	○		○	○	
47		○	臨床動物看護学各論	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ 各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する	2 通	120	-	○			○		○		
48		○	動物内科看護学実習Ⅰ	犬や猫の日常的な健康管理に必要な手技等、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	2 通	90	-	△		○	○		○	○	
49		○	動物内科看護学実習Ⅱ	犬や猫の内科診療に必要な手技等、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	2 通	90	-	△		○	○		○	○	○
50		○	動物臨床検査学実習Ⅰ	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方等、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する	2 通	90	-	△		○	○		○	○	
51		○	動物臨床検査学実習Ⅱ	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方等、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を修得する	2 通	90	-	△		○	○		○	○	○

(文化教養専門課程 ペットビジネス学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		動物外科看護学実習Ⅰ	手術準備や術中・術後管理等、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	2通	90	-	△		○	○	○	○		
	○		動物外科看護学実習Ⅱ	麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命等、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する	2通	90	-	△		○	○	○	○	○	
	○		臨床動物看護学実習	動物看護過程や疾患別の看護等、臨床動物看護学で学んだ知識の実践力を修得する	2通	90	-	△		○	○	○	○		
	○		動物看護総合実習	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する また、牧場や動物園、水族館等様々な職場での実地研修を通じて、動物関連業務における広い見識を身につける	2通	180	-	△		○	○	○	○		
	○		ドッグトレーニング理論Ⅱ	犬が起こした行動からオペラント条件付けの基本的な4つの因果関係に振り分けるとともにそれらを活用した動機付けトレーニングの学習原理の知識を習得する	2通	30	-	○			○	○	○		
	○		服従訓練Ⅱ	服従訓練Ⅰで学んだ知識・技術を基に訓練競技会出場に向けたより実践的な競技規則やマナーを習得する	2通	360	-	△		○	○	○	○		
	○		アジリティⅡ	競技会出場に向けた審査基準を身に付けるとともにトレーニングスケジュールを組み実践する。制限時間内にコースの順番を記憶し人間の立ち位置・犬の走行ルートを考案する	2通	270	-	△		○	○	○	○		
	○		総合トレーニング実習Ⅱ	犬を使ったデモンストレーション技術を身に付けるとともにしつけ教室開催に向けた知識を習得する	2通	270	-	△		○	○	○	○	○	
60															
合計						59	科目	2400 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 決められた授業時間単位以上を受講し、授業科目の成績評価に基づき、学校長が課程修了の認定を行う。		1学年の学期区分	2期
履修方法： 必修24科目の履修と選択必修35科目の中から1380単位時間の履修		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。